

令和六年度一般選抜(Ⅱ期)問題 国語

埼玉医科大学短期大学

注意事項

- 一 解答は別紙答案用紙に書くこと。
- 二 解答を書く前に必ず受験番号・氏名を書くこと。

問題用紙五枚

答案用紙一枚

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(1) 言いたいことは一貫してシンプルです。「正しさは人それぞれ」でも「真実は一つ」でもなく、「正しさはそれに関わる人々が合意することで作られる」ということです。もちろん、「正しさは人それぞれでない」といっても、人はすべてまったく同じだなどと言いたいわけではありません。人は一人ひとり異なる(A)的な存在です。しかし、お互いに理解不可能なほど異なっていることはない。人は、同じ生物種として(B)的に同じような感覚器官や身体構造を持っており、同じように感じたり考えたりします。事実として、人はそれほど違っていません。だからこそ、考えが異なる他者とも理解しあうことが可能なはずです。考えの違いの根底には、人間として共通の部分があるはずだからです。「この人の考えていることはわからないな」と思ったときでも、いったいどういう関心にもとづいて、何の目的でそのように考えているのかを聞いてみれば、わかることが多いでしょう。

もちろん、相手の考えがわかったからといって、それを自分も受け入れるかどうかはまた別のことです。受け入れられないなと思ったときには、どこがどうして受け入れられないのか、理由を言って説明し、相手の言い分を聞いてみる。それを聞いて、まだ納得できなければさらに問う。そうした手間のかかるやり取りのうえで、ようやくお互いに納得することもできるでしょう。そのようにして、(2) お互いに納得のできる結論を作り上げることができたなら、それが「正しさ」というものです。

相手が私の考えに納得したら、強制などしなくても自分から私の考えに従うでしょうし、自分が相手の考えに納得したら、強制などされなくても自分から相手の考えに従うでしょう。これが「正しさの力」です。暴力や強制でなく、正しさの力によってみずから判断し行動することが望ましい。なぜなら、そうした判断や行動は、事態に適切に対応するものである可能性が高いからです。他方、根拠のない信念や思い込みにもとづく行動が事態を改善させる見込みはほとんどないといってもよいでしょう。

(X)、残念ながら最終的にお互いに納得するには至らなくても、少なくとも相手には相手なりの根拠や言い分があることがわかれば、誹謗中(1)したり罵詈雑言(2)を浴びせたりしようとは思わなくなるでしょう。

(Y)、すべてのことについてこのように(C)的な解決ができるとは限りません。どうしても理解してくれない相手には、最終的には強制しなくてはならないこともあるでしょうし、相手が(D)的に迫ってきたときには逃げた方が(E)トクサクという場合もあります。しかし、なるべく暴力をなくして、「より正しい正しさ」を作っていくように努力することが正しいことだと私は考えています。

それに対して、(3) 「正しさは人それぞれ」では、お互いが納得することをはじめから目指していません。そうした態度は、一見すると多様な他者を尊重しているように見えるかもしれませんが、相いれない考え方の者同士がぶつかったときには、自分の「正しさ」の暴力的な押し付けあいになりません。だって、各人それぞれの「正しさ」に同じ価値があつて(b)ユウレツがつけられないというのであれば、事実や論理によってどちらが正しいのか決着がつけられないということになるからです。最近、SNSなどで、自分の気に入らない主張に対して罵詈雑言(2)を吐き、誹謗中(1)を行う人がいることが問題になっていますが、そうしたふるまいは「正しさは人それぞれ」と表裏(3)のものだといってもよいでしょう。「正しさは人それぞれ」は、自分自身の正しさの根拠や理由について考えない態度を助長するからです。

お互いに納得するためには、自分が相手の考えを理解するだけでなく、相手に自分の考えを理解してもらわなくてはなりません。そのためには、自分の考えが正しい理由として、相手も納得するような客観的な根拠を示さなくてはならない。それはそれでたいへんに手間のかかる作業です。客観的な根拠を示すためには、調べなくてははいけません。世界についてのすべての事実が頭の中に入っている人などいないでしょうから。(中略)

(4) 近年、「正しさは人それぞれ」と手をたずさえて広がっている風潮に、「感情の尊重」があります。人間は不正に対して怒りを感じる感情的な傾向があります。感情は眼前の状況に対する(E)的な反応です。自分でも理由がよくわからないままに、

「やつは不正だ」という思いが自分の心に(c)トウライします。自分自身の正しさの客観的な根拠や理由を考えない人は、この感情を正しさの根拠だと思ってしまう。「自分が正しいと感じるから、自分にとっては正しいんだ」と。しかし、そのように思ってしまうことは極めて危険です。感情、とくに不正に対する怒りの感情は、人間を暴力に駆り立てるからです。感情に従うと、相手のことを理解する前に攻撃することになりかねません。

ある一人の人に知覚される状況は、(F)的なものにすぎません。相手がどういう思いでそう言ったのかとか、そう思うに至った背景や経緯は何なのかといったことは直接目には見えません。感情は、そうしたものに思いをいたすことなく反射的に作動してしまいます。それゆえに、自分の感情だけを根拠にして正しさを決めることはできないのです。

にもかかわらず、近年「感情の尊重」という風潮が広がっています。これは、感情が、自分の主張の客観的な根拠を示すという面倒なことをしなくても、ラクに自分の考えの正しさを(d)ホシヨウしてくれるように思えるからです。

「正しいかどうかは自分の感じ方で決まる」という主旨の歌謡曲が増えています。もちろん、感じ方でどうなる場合というのものもあるのでしよう。「自分はダメな奴だ」と思っていたら何事もうまくいかないが、「自分もそんなに捨てたもんじゃやない」と思ったらうまくいくようになるとか(まあ、実際のところはそんな簡単にうまくいくことはないと思いますが)。

(Z)、ほとんどの場合は、感じ方を変えたからといってどうなるものではありません。今日食べ物を買うお金がないほどの貧困に追い込まれた人が、「自分は幸せだ」と感じ方を変えてみたからといって、お腹がふくれるわけではない。

何か困難な状況に直面したときには、感じ方を変えるのではなく、状況を変えることの方が大切です。しかし、状況を変えるのはたいへんなことです。多様な他者と連帯して大きな運動の流れを作らなくてはなりません。「なんでも感じ方しだい」というような言葉は、困っている人を励ますよい言葉のように見せかけておいて、その実、困っている人を困った状況に(e)ホウチする態度を助長する言葉です。

人間は一人では生きていません。自分とは異なる他者とも助け合って生きていかなければなりません。それなのに、「正しさは人それぞれ」とか「何でも感じ方しだい」といった、お互いに理解しあい助け合うことを拒否する態度が蔓延するのはとても困ったことです。

(山口裕之『みんな違ってみんないい』のか?』一部改変)

問一 傍線部(a)～(e)のカタカナを漢字にせよ。

問二 空欄AからFに入る適語はどれか、それぞれ次の中から選んで記号で答えよ。

A 暴力 I 基本 U 一面 E 個別 O 理想 K 反射

問三 空欄①②③に入る漢字をそれぞれ答え、四字熟語にせよ。

問四 空欄XYZZに入る適語どれか、次の中から選んでそれぞれ記号で答えよ。

A また I しかし U むしろ E もちろん

問五 傍線部(1)「言いたいことは一貫してシンプルです」とあるが、この考えの根本なっている筆者の「人間観」について述べた次の文の空欄①・②に文中より言葉を補いなさい。ただし①は二字、②は五字。

筆者は、「人は、異なる他者と(①)として生きていかなければならない存在であり、常に他者との合意を基に(②)正しさを求めて、現況を改革していくもの」という人間観を持っている。

問六 傍線部(2)「お互いに納得のできる結論を作り上げる」とあるが、同じ意味の文中の二字の表現を示せ。

問七 傍線部(3)「正しさは人それぞれ」とあるが、筆者はこうした考え方は何をもたらずと考えているか。この段落より前の文中の五字で示せ。

問八 傍線部(4)「近年、正しさは人それぞれと手をたずさえて広がっている風潮に、感情の尊重があります」とあるが、二つに共通するのは、どういうことか。この段落より後の文中より二十字程度で書き抜き、その最初の三字で示せ。

問九 本文の内容と最も合致するものはどれか、次の中から選んで記号で答えよ。

- ア 正しさは一つでないのだから、人は、みずからの判断を信じ行動することが望ましい。
- イ 強制しなくてはならないこともあるので、最終的には多様な他者を尊重することはできない。
- ウ 合意形成のためには常に、お互いが事実や論理に基づいて議論していくべきだ。
- エ 感じ方でどうこうなる場合もあるので、感情尊重は、困難を救う有効な手段となる。

二ついつ

著作権の関係で掲載許諾を得られていない出典等(抜粋部分)があるものは公開できません。